

平成30年度

第6回岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 平成30年11月30日(金) 午後3時～午後5時30分
- 2 場 所 岡山市役所本庁舎3階 第1会議室
- 3 出席委員 中塚委員長、貝原副委員長、小松委員、角田委員、原田委員、日笠委員、藤田委員、松井委員、光岡委員
- 4 出席職員 井上市民協働局次長
(女性が輝くまちづくり推進課)
逢澤参事、奥野参事監、祇園館長、岩井課長補佐、高村主査
- 5 傍聴者 2名
- 6 議 事
 - (1) 「第4次さんかくプラン」行政評価(平成30年度)について
 - (2) 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例改正について
 - (3) その他
- 7 配付資料
 - 資料1 「第4次さんかくプラン」行政評価(平成30年度) (案)
 - 資料2 さんかく条例改正へのワークショップ等での意見について
- 8 会議の状況

議題1 「第4次さんかくプラン」行政評価(平成30年度)について
配付資料を基に事務局から重点目標ごとに説明

◎ 主な意見

＜重点目標1 個人としての尊厳の尊重及び性別に基づいて起こる人権侵害禁止＞

○目標①・②について

 - ・小中学校においての授業実施が100%になっているが、どのような男女共同参画の取組をしたかを具体的に調査しているのか。
→男女共同参画の内容を含んだ授業として、学習主題を12項目(男女の役割分担、男女の協力等)示して、それを実施しているかどうかを調査している。その中で一つでも実施していれば授業を行っている判断している。
 - ・普通の授業とは別に特設時間として男女平等を取り上げた授業なのか、どこかに男女平等の視点が入っている授業なのかによってずいぶん違ってくるのでは。各学校で全クラスで行われているという結果ならば素晴らしいが。
 - ・内容に踏み込んで調査の設問を変えることも考えられるが、プランの途中から変えるのは問題もある。次回プラン改定時には、「内容を含んだ特別な授業をしているか」または、「通常の授業とは別に実施しているか」と聞くのがよいのではないかと。評価の所に、「内容を点検していく必要がある」等を加えてもよいのではないかと。
 - ・条例改正によって、従来の男女平等だけでいいのか、という点も変わってくるかもしれない。

○指標A・B・Cについて

 - ・P.12 評価の「横ばい」という表現について、統計的にどれくらいの%の上下で上昇とか

下降とかいうのか。グラフで見える上がり下がり違う。

→%の上下だけではなくて、統計学的には分母によって有意差は変わってくる。

→グラフ上で数字を見やすくするために、それぞれ%の目盛の幅を変えているので、より上下しているように見える。

・見た人が誤解をうけないような工夫ができればいいのではないか。

○指標 Aについて

・P.9の小中学生の男女平等感で、中学生の「平等にあつかわれている」と感じる値が4ポイントも下がっているのは由々しきことだと思う。なぜ平等にあつかわれていないのか理由の調査を検討してほしい。

○指標 Cについて

・P.10のインターネットのフィルタリングについては、どうしてよいか分からない人が多いのではないか。単に調査をするだけではなく、広報するなどさらなる普及が必要だと思う。

<重点目標2 配偶者等からの暴力防止及び被害者支援の推進（DV対策基本計画）>

○目標 ⑤について

・P.14の啓発講座の受講者数は増加しているが、どの年齢層が興味を持って受講しているのか内訳をわかりやすくしてほしい。

・特に、デートDVの場合大学生では遅いので、P.17の評価に高校生等の若年層にも啓発する必要があるということを加えてほしい。

○指標 Fについて

・P.16の説明で、「殴る・蹴る」の行為については、さすがに認識している人が9割しかないのはどうなのか。「9割程度の人が認識している」という表現と「9割程度の人しか認識していない」というのではニュアンスが違うのではないか。ここだけ書き方を変えると意図的過ぎるか。

<重点目標3 性と生殖の健康と権利の確保及び生涯を通じた健康支援>

○目標 ⑥について

・P.18の出前講座の目標値について達成できていないが、出前講座を申し込んだけれど、「もう今年は枠がない」と言われたという話をよく聞く。予算があるのならばもっと広報を、ということも考えられるが、予算の枠の関係であればいつまでたっても達成できない。担当課に確認してほしい。

○指標 Hについて

・健康診査について、保険の加入、就労状況等によっても違うと思うが、受診率がこんなに高いのかという疑問がある。がん検診でも目標が5割で、受診率は4割である。

今回女性の受診率が低いので、そのことを書いてほしい。女性こそ健康診査を受けてほしいし、毎年率が下がっている傾向は変わっていない。

→この一年間で健診を受けたかどうかを聞いている。就労状況等についても聞いているが、就労状況による分析は、人数が少なくなる可能性がある。

<重点目標4 固定的な性別役割分担意識の解消>

○指標 Jについて

・「男は仕事、女は家庭」の表現について、男性、女性に統一してはどうか。

→プランの中での表現なので変えられない。

○指標 Kについて

・P.22の、30代の男性（子育て真っ最中の世代）の子育て分担割合が10ポイント以上下がっている。参考のグラフではあるが、評価に、「ただし30代男性では～」と加えては

どうか。

意見だが、男性が思う子育て・育児と女性が夫に思う子育て・育児は違うので、男性・女性で互いに感じているパートナーの分担割合は違うのではないかと。今後の調査で検討してほしい。

○指標 Lについて

- ・事業者で男性も女性もお茶を出すというのが4割強で過半数にもいっていないので、まだまだ意識は低いなど、評価の表現を工夫してほしい。

<重点目標5 国際的な取組についての理解及び協調、連携>

○目標 ⑧について

- ・各種の講座・研修等についての要望だが、出前だけでは難しいし、今はネットの時代なので、ネットで配信し、見たらその数をカウントできるようにしてほしい。

○指標 Mについて

- ・ジェンダーという言葉が岡山市自体が使っていないのではないかと感じる。マスコミとか新聞・テレビ等でもあまり使わなくなった。年齢層にもよるが、認知度は低いと感じる。言葉としてイメージがわきにくいし、否定的な悪いイメージがあるのか。ジェンダーによる決めつけ等、方向性としては解消したほうがいい、という使い方をすることが多いので、浸透しにくい面があるのではないかと。
→講演会等でもサブタイトルとかでは使っているが、市民に伝わりにくいということを使っていないということはあるかもしれない。

○指標 Nについて

- ・外国人のアンケートの回収数が少ないので統計的に有効なのか。

<重点目標6 市と市民等とのパートナーシップによる協働>

○目標 ⑨について

- ・『DUO』が3月に発行され、全戸配布される。6月のウイークの記事が結果報告になるのではもったいない。もっと『DUO』を活用できるよう改善してほしい。来年度のウイークの具体的な内容が入れば、登録団体への参加の呼びかけ等もできるのでは。
- ・ウイークの実行委員会の関係もあるが、条例が変わるとウイークの時期等も変わるかもしれない。『DUO』の活用の調整等も検討してもらいたい。

○目標 ⑩について

- ・登録団体は全部活動しているのか。全部の団体が活動していないのなら参加率は変わるのではないかと思うが。
→毎年登録の申請書類は出してもらっているので、活動はしている。申請更新の説明会で募集もしている。
- ・申請時に、必ずさんかくウイークに1名は参加してもらおうとか、参加することによるインセンティブを付ける（ブースがあって自分たちの活動をアピールできる等）など、実行委員募集というより、もっと強力に要請したほうが積極的な参加につながるのではないかと。

○指標 Pについて

- ・「さんかく岡山」を改革しないといけないのでは。特に学生など若い人にとって入りづらいので、もっと気軽に入りやすい雰囲気になるように変えていかないと、事業内容以前に「さんかく岡山」そのものを知ってもらえないのでは。
- ・フロアでは若い人も勉強していたり、有益なパネル展示や書籍もかなりそろっており、工夫しているとも思う。

<重点目標7 仕事と生活の調和の推進>

○目標 ⑪について

- ・待機児童数については、担当課は申請した親の数だけしか知らないと思う。今でも551人居るので、目標値に近づいているという表現は言い過ぎではないか。評価の表現を変えてほしい。

○指標 Rについて

- ・介護は概念が広い。調査するときには定義をどうしているのか。
→アンケート内では注意書きで介護の内容を示している。
- ・介護する期間も違うし家事援助も介護になる。介護の概念は広いので調査しづらいとは思いますが、次回、工夫してほしい。次の改訂の時に検討を。

○指標 Sについて

- ・P.33 参考のグラフ【非正規社員】の男性の「(仕事と生活とのバランスが)よくとれている」は0%であると書いておく方がよい。
- ・非正規社員の全体の人数がわからない。特に非正規社員の男性は数が少ないのではないかと。どうしてもグラフを示したければ、せめてnを入れてほしい。
- ・母数が違うものを同じ100%の表で比較するのは危険ではないか。
- ・左の全体、男性、女性の下にnを入れるとわかりやすい。

<重点目標8 働く場における女性の活躍推進>

○目標 ⑭について

- ・前プランでは目標値にしていなかったもので、受講者数の増減はわからないが、H30では減っているの具体的な対策を評価に加えてほしい。

○指標 Tについて

- ・女性活躍推進法では、2020年までに女性の管理職を30%にするとしている。これからかなり上げていかないといけないのに、P.36の評価の「横ばい」という表現に違和感がある。まだ全体的に低いということの評価に加えてほしい。

<重点目標9 政策・方針の決定過程への男女共同参画の促進>

○目標 ⑰について

- ・指標Tでは3.8ポイント下がっていても「横ばいである」と表現しているが、市の女性管理職では、1ポイントしか上がっていないのに「上昇している」と表現しているのは納得できない。これこそ横ばいである。
- ・岡山市は政令市の中でも順位は低い方ではないか。市の女性管理職の割合は「統計的には上昇しているが目標値に大きく達していない」等々を評価に加えるなど、表現の仕方を考えてほしい。

○指標 Uについて

- ・P.38の単位町内会長1,717のうち女性の会長が何人いるのかわかった方がいいので、人数を加えてほしい。

<全体を通して>

- ・P.21等のグラフでは「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足した割合しか出てこない。折れ線グラフではなく、どちらが多いのか等の比率、経年の変化等も分かるような積み上げグラフの方が情報量も多く適切なのではないか。
- ・指標と目標では書き方が違うのか。同じ「横ばい」という表現にしても、悪い方に動いている場合、よい方向の場合等、統計学的な原則を守りつつも、文章のニュアンスを変えて評価の内容を考えてほしい。
- ・P.1の文章で、いきなり「行政の取組だけでは～」で始まっている。表現も強すぎるのでは。「第4次さんかくプランとは～」といった説明を入れた方がいいのではないかと。順番を

変える等検討してほしい。

- ・この回収率、母数でこのような断定的な評価ができるのか。統計学の専門家に見てもらった方がよいのではないか。

議題2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例改正について

当日配付参考資料「さんかく条例改正へのパブリックコメントについて」・配付資料 資料2「さんかく条例改正へのワークショップ等での意見について」を基に事務局から説明

◎ 主な意見

- ・ワークショップ等での意見は、いい視点で深く考えて指摘されていると思った。多様な性を名称に入れるのであれば、パートナーシップのこと等もう少し踏み込まないといけないのではないかと思う。今回名称の変更までは必要ない。
- ・前文については、指摘の通り、分けて書く方がわかりやすくよい。
- ・性別等については、性自認・性的指向等を入れて定義していけばよいと思う。
- ・人権の関係で、宣言とか新しい条例を、といった意見がパブリックコメント等に出ているが、この条例だけでは弱いのではないか。この場で議論することではないかもしれないし、条例には盛り込めないけれど、もっと具体的な施策（パートナーシップ制度）等についても進めてほしいということはこの委員会から人権の担当課へ伝えてほしい。
→人権の担当課との連携しながら進めており、この専門委員会での動きも伝えている。この委員会の意見として伝える。
- ・まだいろいろな問題があるので、今後の施策は人権の方で頑張してほしい。

議題3 その他

次回開催予定

日程：12月17日（月）15：00～